

 <p>創立50周年</p> <p>学校 HP https://sobudai-j.sagamihara.andteacher.jp/</p>	<p>学校教育目標</p> <p>みずから とにも ゆたかに</p>	<p>令和7年8月号</p> <p>令和7年9月1日発行</p> <p>相模原市立相武台中学校</p>
--	--	---

「小さな目標達成」の先にあるもの

校長 井上 武仁

「夏の甲子園大会が終わると秋の気配を感じて、いよいよ夏休みも終わりだ」と自分が生徒のころは感じていましたが、現在はどうでしょう。天気予報を見ていると「猛烈な残暑」「まだまだ続く残暑」「処暑を過ぎても猛暑」などという言葉が聞かれました。とにかく暑い夏休みでしたが、みなさまは元気に過ごされたでしょうか。また日本各地で豪雨により大きな被害も出ていました。心からお見舞い申し上げます。25日に行われた始業式は暑さ対策のために各教室においてオンラインで行われたため、全校生徒の顔を見ながら話をすることはできませんでしたが、先生方に聞いたところ特に大きな事故もなく無事に登校できたようです。ありがたいことです。

夏休みは暑すぎて外に出ることもできずに家にいる機会が多かったと思いますが、自分が納得できりくらいの学習ができたのでしょうか。暑い中ではありますが少しは外に出て息抜きをすることもできたのでしょうか。夏休み前半の中体連の大会ではほとんどの部が市の大会で負けてしまいましたが、水泳では県大会に出場することができました。また吹奏楽部は市の大会で金賞をとることができました。大会終了後は各部が新チームでの活動になり暑い中よく頑張っていたようです。

1学期の終わりから体育館にエアコンを設置する工事が始まっており、夏休み終盤に完成しました。早速部活動で使用し、2学期になって体育の授業でも使いましたが、涼しい環境の中で生徒たちも安心して授業に取り組んでいたようです。また青翔祭文化部門も間近になってきて、各クラスから歌声が響いてくるようになりました。練習している様子を見ると、各クラスがしっかりまとまっているという印象を受けました。

私はNHKの朝ドラをビデオに撮って見ているのですが、主人公のやなせたかしさんがアンパンマンの作者であることは知っていたのですが、「手のひらを太陽に」の作詞者ということを知りました。番組の中で歌う場面があり、「手のひらを太陽にかざしてみーれーばー」という歌詞の部分で、ふと思ったのが私が夏休み中に夢中になる高校野球でした。いろいろ話題になっていましたが県立岐阜商業高校の外野手で生まれつき左手の指に障害がある横山選手です。始業式ではその話をしました。横山選手はバットを握ることができなくてももしっかり夢を握っていた、最初はピッチャーになる夢だったけど次はバッターとして使ってもらえるようになりたいという夢に握り替え、その気持ちから甲子園に出たいという夢を持ち実現させた。みんなも2学期から小さな夢・目標をもって一つ一つ実現させ、次の夢・目標を持って頑張っていってほしい、というような話をしました。小さな夢を実現させながら大きな夢を実現させてほしいと思います。

これは生徒だけに言えることではなく教師にとっても大事なことです。9月には50周年行事もあります。これからの新たな相武台中学校の歴史をつくっていくうえでも、生徒と教師が一体となって頑張っていかなければならないと思います。そのためにも今後も保護者の皆様をはじめ、地域の皆様にも学校運営に対してご理解とご協力をお願いいたします。

夏休み中には事故などの報告もなく、みなさんがまた元気に登校してくれてくれたことを大変うれしく思います。2学期は学習や行事などでまた忙しくなるとは思います、1学期以上に充実した中学校生活になることを期待しています。

始業式での、各学年生徒の2学期に向けての言葉を紹介します。

1年生代表の言葉

1年 学年代表

私が1学期に頑張ったことは、初めての定期テストです。定期テストは、小学生の時に受けていたテストとは全然違って、テスト範囲の広さに驚きました。また、たくさんの教科のテストをまとめて行うので、どの教科を優先的に勉強するべきかなど、テスト勉強のやり方にとっても迷いました。けれど、自分の苦手な教科の、勉強の量を多めにして計画を立てた計画表に、毎日振り返りや反省を書いて、次の日にはそれを活かして、改善させた勉強方法でテスト勉強に取り組むようにしたり、わからないところは、できるだけ周りの人に聞き、わからないところをなるべく減らして定期テストを受けられるようにしたりと、自分なりにやり方を考え、定期テストでは、力を出し切ることができました。2学期も継続して取り組みたいです。

次に、私が2学期に頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は青翔祭です。青翔祭は、クラスや学年などの仲間と協力をして、団結力を高められる行事だと思います。私はまだ、クラスや学年など、団体で目標に向かってものごとを行うことをあまりしてきていないので、青翔祭では、1学期では身につけることができなかつた、団結力を身につけるため、目標を立てて、練習も本番も全力で取り組んでいきたいです。

また私は、2学期の文化部門に向けて、夏休みに頑張ったことがあります。私は青翔祭文化部門で伴奏を務めることになり、夏休みは、一定のリズムで弾くことや正確に弾くこと、強弱をつけて弾くことの3つを意識して練習しました。夏休みは、学校がある日よりも時間があるので、時間を有効に使い、細かいところまで練習をすることができました。2学期に行われる青翔祭文化部門では、夏休みに練習した成果を出せるように頑張りたいと思います。

2つ目は、評議員として、クラス、学年をまとめていくことです。1学期では、2分前着席や身だしなみを

整えることを意識しました。2学期は意識するだけではなく、声をかけたり、目標を達成するための方法を考え実行したりして、評議員としてクラスをまとめ、クラスのためになれるようにしていきたいです。私達青翔祭学年はとても元気でパワーのある学年だと思いません。行事だけを頑張るのではなく、普段の学校生活からしっかりと過ごすことが大切だと思います。そして青翔祭などの行事は盛り上がり、みんなと協力しながら充実した2学期にしたいと思います。

2年生代表の言葉

2年 学年代表

私が2学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は、勉強面です。一年生のころはあまり勉強に意欲がなく、テストの点もあまりよいとは言えませんでした。しかし、二年生になってすこしづつ受験を意識するようになり、勉強に対する意識も少しずつ変えていこうと思うようになりました。小テストや単元テストでは、ワークや教科書を活用して勉強したり、提出物もギリギリではなく、なるべく早めに終わらせて、早めに出せるように心がけました。そのおかげで、テストの点数も以前より上がってきたり、提出物を早めに出すようになって、時間に余裕を持てたりと、自分でも少し成長を感じられるようになりました。ですが、ときには提出物がギリギリになったり、勉強しない日もあったりしたので、2学期は一学期の反省を活かして、もうすこしテスト前だけじゃなく、普段から勉強する日を決めたり、提出物の締切を意識して、早めに取りかかったりと、計画的に取り組めるようにしていきたいです。

2つ目は、生活面です。私は、昔から何をするにも最初は「めんどくさい」と感じる事が多くありました。しかし、いざやってみると楽しかったり、苦手なことも向き合ってみると知らなかったことがわかったり、挑戦し最後まで頑張ってみることで、できることが増え、「嬉しい」や「楽しい」をたくさん見つけられるようになりました。

たとえば、今回の学級代表に選ばれたときは正直戸惑いました。が、「頼まれたからにはしっかりやろう」と思って引き受けました。

何度も考え直して大変でしたが、考えているうちに

意外と楽しくなってきた、挑戦して良かったなど感じることができました。

最近では、できないことを努力してできるように変える楽しさや嬉しさ、人と関わる楽しさ、関わったことで得られる嬉しさも感じられるようになってきました。

二学期は何事にも全力で楽しんで取り組むことを大事にして、もし「自分に合わないな」と思ったら、無理をせず、様々なことに積極的に挑戦していきたいです。

このことから二学期は、勉強に計画的に取り組むことはもちろん、どんなことにも前向きに挑戦し、諦めず努力し続け、自分の「できる」を少しずつ増やしていきたいです。

また、友達ともたくさん関わって、お互いに楽しく過ごせるような明るい二学期にしていきたいです。

3年生代表の言葉

3年 学年代表

僕が一学期で身につけることができた力は見通す力です。そのきっかけとなった経験は、修学旅行中のタクシー班行動での出来事です。タクシーの運転手に自由時間をもらい、その場で行きたい場所や時間を自分達で計画することになりました。そこで、行きたい場所がたくさんあった中でも時間を第一優先に考え、余裕をもった行動を班員と心がけることができました。この経験から私は見通す力が身についたと思います。

2学期の私の目標は、50周年の節目となる青翔祭を成功させることです。今年は最上級生となり、保健体育委員長として青翔祭を任される立場でもあります。私の願いは、勝っても負けても一人ひとりが自分の全力を出し切れる青翔祭にしてほしい。特に学校行事の中で全力を尽くせた！という経験を皆にしてほしい。という思いがあります。そのために練習でマイナスな気持ちになっている人に自分から声をかけ

たり、皆が協力しやすい関係を作れるよう、多くの人と関わる必要があります。そしてお互いを信頼し合い全力を出し切れる青翔祭をめざします。

これから始まる二学期では、受験勉強と部活の両立、多くの学校行事があり忙しい日々が続きますが、辛いときは仲間と助け合い、目標を達成できるように努力したいです。

夏休みに行われた相模原吹奏楽コンクールで、相武台中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。これまで一生懸命とりくんできた思いを部長さんに書いてもらいました。

コンクールを終えて

吹奏楽部部長

私たち吹奏楽部は、先日行われた相模原吹奏楽コンクールで金賞を取ることができました。

今回は『鬼姫～ある美しき幻影～』という今まで挑戦したことのない曲調で、複雑なリズムが多く、この曲を練習し始めた頃は銀賞も取れるのかという状況でした。

そして、私たち3年生が4人しかいないので、15人の2年生を引っ張っていけるのかという事が一番不安でした。しかし、2年生が付いてきてくれたこと、何よりも頑張ってくれた2年生に金賞をとらせてあげたいという思いで本番に臨みました。

本番では先生、3年生、2年生、全員が気持ちを一つにして、最高の演奏ができたと思います。

授賞式で学校名が呼ばれ「ゴールド金賞」と言われた時は、本当に安心した気持ちと嬉しい気持ちでいっぱいでした。ステージから喜ぶ部員の姿も少し見ることができて、今まで頑張ってきてよかったと心から思いました。

このメンバーで金賞が取れたこと、部長としてこの様な素晴らしい経験をさせてもらったことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



の主な予定

2日(火)青翔祭開閉会式リハーサル 17日(水)50周年記念式典リハーサル

19日(金)授業公開(5校時)・学級懇談会

26日(金)50周年記念式典・青翔祭文化部門